

科学者委員会ジェンダー・エクイティ分科会（第26期・第13回）
法学委員会社会と教育におけるLGBTIの権利保障分科会（第26期・第6回）合同会議

議事要旨

1. 日時 2026（令和8）年8月1日（土）17:45～18:45

2. 場所 日本学術会議6階6-A(1)会議室及びオンライン（ハイブリッド開催）

3. 出席者

・科学者委員会ジェンダー・エクイティ分科会

岩井、島岡、嶋田、高橋、樋田、加藤、玉田、伊藤、上田、木村、中野、名越、原田
（欠席者 3名）

・法学委員会社会と教育におけるLGBTIの権利保障分科会

島岡、高橋、南野、安部、伊藤、隠岐、釜野、谷口、内藤、三成、來田、神谷、吉沢
（欠席者 5名）

4. 議題

（1）学術フォーラムを終えて

同日の学術フォーラムは滞りなく終了し、その内容について意見交換を行った。様々な領域におけるジェンダー平等に関する施策等の報告があり、資料も充実しており、活発な議論がなされた。

（2）今後の活動について

社会と教育におけるLGBTIの権利保障分科会では、今期、婚姻平等とトランスジェンダーに関する2つの見解を発出した。これらの見解に関するシンポジウム（オンライン、短時間）を9月末あたりに行うことについて提案され、承認された。

（3）その他について

反差別法小分科会と包括的反差別法検討小委員会で検討してきた、包括的反差別法に関する提言案の公表スケジュールの関係で、8/30に予定していた公開シンポジウム「誰もが差別されない社会を目指して～包括的反差別法の立法がなぜ必要か～」（主催：科学者委員会ジェンダー・エクイティ分科会、法学委員会社会と教育におけるLGBTIの権利保障分科会、法学委員会「新たな人権研究」分科会、法学委員会ジェンダー法分科会）を延期とすることとした。年明けに学術フォーラムとして行うことを目指す。